



専門局長あいさつ

専門局長 西条市立吉井小学校長 河端 一雄

本年度専門局長を務めさせていただくことになりました。現在の学校を取り巻く状況は、新学習指導要領の移行期間に入り、急激に変化し、多様化しています。また、大量退職時代における人材確保と育成の問題、それを背景とした教職員の多忙化など、問題は多々あります。さらに、専門局の先生方は一人職のために疎外感や孤立感を味わったり、専門的な研修が十分にできなかつたりするなど悩みも多いと思います。就任してまだ数か月しか経っていませんが、専門局の活動を通じて養護教諭の先生方と触れ合う機会が大幅に増えました。今の厳しい環境の中、熱心に教育活動や研修に取り組まれている姿を拝見して、大変感動しております。

愛教研専門局は、学校の教育活動の充実に努め、それぞれの専門性を生かし、「チーム学校」の体制構築のために頑張りたいと思います。また、積極的に情報発信や共有化を図り、養護教諭の先生方が働きやすく、学校の中で存在感を高めていくことができるように様々な工夫をしていきたいと思います。どうか1年間よろしく願いいたします。



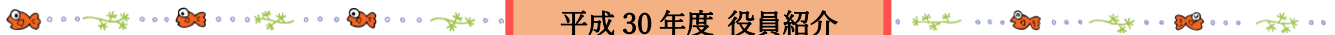
部長あいさつ

部長 松山市立城西中学校 米湊 美香

この度、専門局養護教員部長という大役をいただきました。これまでは参加をする意識であったものが、参画する立場になったことへの責任の重さを感じています。

さて、養護教諭の仕事の在り方は、理論があつてそれに従つて実践をするという単純なものではなく、仲間の実践の積み重ねを通して、その考え方やその進め方を互いに確かめ合い、伝え合うことによって広く共有していくという側面があります。そして共有しながらも自分なりにアレンジしていく巧みさにも優れています。さしずめ「実践から生み出されたMy理論」とでもいうのでしょうか。私にも記憶に残る研究発表や講演、ブロック研修があり、仕事の在り方に大きく影響を受けています。今年度の事業も役員それぞれが持っている知恵と経験を生かしていただきながら、河端専門局長の御指導のもと、会員の方々の記憶に残るものとなるよう、努めてまいります。

一年間、どうぞよろしく願いいたします。



平成30年度 役員紹介

専門局長		河端 一雄	西条市立吉井小学校	ホームページ担当者	
部長		米湊 美香	松山市立城西中学校	★武藤亜希子	松山市立興居島中学校
副部長	東予	棚橋 愛	四国中央市立中之庄小学校	渡部 真希	新居浜市立高津小学校
	中予	竹田 真由美	松山市立高浜中学校	中川 順子	松山市立生石小学校
	南予	芝 久美	鬼北町立日吉中学校	曾根 春菜	宇和島市立高光小学校
常任部員		★鈴木 恵美子	松山市立北条北中学校	白石 光	新居浜市立角野小学校
		小澤 和子	今治市立清水小学校	明賀 知美	久万高原町立久万小学校
		亀内 智奈美	内子町立五十崎小学校	宮成 順子	宇和島市立三浦小学校

★は、常任部長、ホームページ作成委員長

リーダー研修会より（H30年6月19日 エスポワール愛媛文教会館にて）

専門局長講話「養護教諭に望むこと」

西条市立吉井小学校長 河端 一雄

1 養護教諭に望むこと

(1) 専門性

養護教諭は専門職である。専門性に裏付けされた判断や対応が必要とされる。人間性も求められる。多くの経験がいかされなければならないが、他の養護教諭の経験を共有することでそれに代えることができる。学校経営においては、養護教諭という立場から、常に危機意識を持ち、最悪の場合を想定した上で助言をすること。

(2) コーディネート力

養護教諭は校内体制の中心的存在であり、その専門性とコミュニケーション力に期待している。H29.3月の「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援」（文部科学省）等を参考に、校内体制、保護者との連携、諸機関との連携の中で、チーム学校の要とならなければならない。

(3) 健康教育の推進

ア 保健室経営・・・学校全体を見て、子どもたちが抱えている健康課題を解決すべく計画を立てる。

イ 情報発信・・・授業、講演会、学校保健委員会、児童生徒保健委員会活動、HP、保健通信など様々な手段を活かし、健康教育の推進を行う。「第2次愛媛こども健康サポート推進計画」等を参考に。

2 養護教諭の皆さんへ

子どもたちの健康は学校経営の中心である。そのためには養護教諭の力が必要であり、子どもたちからも期待され、支える力となっていることを認識し頑張ってもらいたい。



実践発表「救急処置に関する研修の在り方」

四国中央支部

四国中央支部では、全体の60%が若年層であるため、中堅・ベテランの養護教諭が若年層を積極的にサポートし、養護教諭の専門性に基づく実践的指導力の向上を目指して研修に取り組んでいる。

1 ヒヤリ・ハット研修

日々の救急処置の場面におけるヒヤリ・ハット事例を報告し合い、対応策について全体で協議している。

2 シミュレーションによる実技研修

一人一人が得たいスキルを事前に把握し、四国中央消防署の指導助言を受けて研修を行っている。また、救急用品や対応マニュアル等を準備するとともに、学校で起こり得る状況を想定したシナリオも作成し、緊張感のある中で適確な判断と処置ができるよう理解を深めている。

3 校内研修の充実

本支部では、アクションカードを導入した救命救急法の研修動画を制作し、その資料を活用した校内研修を行うよう推進している。

お知らせ

リーダー研修会の鴻上指導主事の講話内容はHPに掲載します。最新の学校保健に関する情報です。御一読ください。